

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-53)、
廃棄物管理施設(28)、MOX燃料加工施設(2-22))」

2. 日時：令和5年4月19日(水) 15時45分～17時55分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 大柿 専務執行役員 再処理・MOX燃料加工安全設計総括
決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者
松本 執行役員 技術本部副本部長(土木建築) 他9名

関西電力株式会社 原子力事業本部

プラント・保全技術グループマネージャー 他1名

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料技術グループ 副長 他1名

中部電力株式会社 原子力本部 原子燃料サイクル部
サイクル戦略グループ 課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和５年４月１８日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	はい、録音を開始しました。
00:00:04	原子力規制庁の武田です。
00:00:07	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
00:00:11	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった再処理及び廃棄物管理、
00:00:17	そして、令和5年の2月に申請があったMOX施設の
00:00:23	小西先生に関する事実確認を行うものになります。
00:00:27	まず、規制庁側の出席者を紹介いたします。
00:00:31	本庁側の出席者の紹介をお願いします。
00:00:34	はい。
00:00:35	藤本町会議室から古作藤原、濱崎、田尻岡瀬戸川清水以上になります。
00:00:46	はい、ありがとうございます。それでウェブからの参加が、紙で発信の、
00:00:53	大橋。
00:00:56	長谷川管理官、武田以上になります。
00:01:00	今日それで日本原燃の方から出席者の紹介と、衛藤それぞれの担当、
00:01:05	そして本日のヒアリングでの説明範囲等達成目標について説明をお願いいたします。
00:01:12	はい。日本原燃事務局の中浜です。
00:01:15	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:20	まず総括責任者で、大柿。
00:01:23	事務局より、
00:01:25	佐藤。
00:01:26	高橋瀬川。
00:01:28	藤野中浜。
00:01:31	Steering チームより、
00:01:33	決得今村。
00:01:36	石原。
00:01:37	関西電力様の野本様、石黒様。
00:01:42	あと耐震関係より、松本。
00:01:45	富樫。
00:01:46	山口。

00:01:48	以上参加者となります。
00:01:50	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、
00:01:54	審査会合終了、Steering チームの設置、及び、次設工認今後の進め方、以上三つの資料となります。
00:02:03	それでは説明の方開始させていただきます。
00:02:09	はい。日本原燃手話でございます。資料三つ今紹介あった通りでございます。まず審査会合資料についてでございますが前回の Steering チームに関するヒアリングをさせていただいたものを踏まえまして、
00:02:23	審査会合資料の右下 2 ページに、体制の強化としてセンイチームを設置したこと後 Steering の役割というのを記載をしたページを作らせていただきました。
00:02:36	本件につきましては次の資料の Steering 企業の設置等の関係もありますんで、審査会合資料としては、内容をとって地盤の方の入力地震動の策定の方の話を、まずは、
00:02:51	やらせていただこうと思いますがそれでよろしかったでしょうか。
00:02:55	古作ですどうぞ。
00:03:02	それでは、並木間野関西電力野本でございます。それでは審査会合用肥料につきまして、前回ご覧いただきました内容につきましてコメントいただいておりますので修正箇所を今回ご説明させていただこうと思います。
00:03:18	そうしましたら、このですね前回いただきました※に基づいて、修正した場所を中心に、日本原燃よりご説明さしあげようと思います。よろしく
00:03:31	はい。日本原燃山口です。審査会合資料の
00:03:35	7 ページ以降地盤モデルのところについて修正内容を説明させていただきます。前回のヒアリングを踏まえまして 7 ページのところについてですけれども、
00:03:46	解析条件としてはですけど、
00:03:50	はい、規制庁の長谷川ですけどちょっと待って、決得さん。
00:03:55	説明と違ってさ、Steering チームが全部やるんじゃない。
00:04:00	2、

00:04:01	すべてとなると、左口も5米ですので、当然大きな方針のところとか大きなところは入るにしても例えば今見た今みたいな前回のヒアリングの修正箇所とか、
00:04:13	そういったところは実務の方からしていただきたいなと考えてるんですけどもどうでしょう。
00:04:19	いや別にやるのかもはないけど、うまくできなかった場合は、
00:04:24	全部
00:04:25	で、全部、
00:04:29	ですよっていう
00:04:30	はい。当然、いや、だから、そこはだからステイリングチームが責任を持って、ちゃんと説明できる、しっかり説明できる者が言ってるっていうそういう
00:04:42	はい。どんな、それからけれども、
00:04:46	Steeringのメンバーが話聞いてますので、どう説明するかって話を聞いてるんじゃ。
00:04:53	事を、
00:04:55	各確認してます。はい。岩崎ですけど、すいません。それで言うと私もちょっと疑問に思いながら聞いてたんですけど、
00:05:04	変更点の説明ってヒアリングでこれまで求めてないんですけど何で説明する
00:05:08	ように、Steeringチームでハンドリングをしたんですか。
00:05:16	関西電力の郷でございます。ます。ですねすみませんこれまでの事業ちょっとわかっていないところがあって申し訳ないんですけども、本この審査会合用資料をご説明するにあたりまして何か
00:05:31	雇用便で前回からの変更点をご説明することでご確認いただくということが今回の目的だなと思ひまして、こういうご説明を始めてしまったんですけども、
00:05:43	これすみません私の予想でございましたら、ちょっと日本原電側からもおしかりを受けたいというふうに思います。以上でございます。
00:05:51	古作です。それで言う等、資料は事前に送っていただいてて変更しているようなことは見てるので、

00:06:02	ポイントとなるところがどこにあるのか、原燃としてどう考えてるのか かっていうことだけ言ってもらえればいいので、それこそ Steering チーム で一言ふたこと言っていたいただければそれで十分。
00:06:14	です。
00:06:16	承知いたしましたその辺の作法がわかっておられて、すいません私のと ころでございます。そういうことございましたら今回お出ししました 資料につきまして、変更はご覧いただいた通りでございます。
00:06:29	1点私から補足させていただきたいことがございます。今回ですね前回 のコメントを踏まえて、今日地盤東側地盤に近い地盤ということでデー タを並べ変えたんですけれども、前回まではそれぞれのデータのところ にですねデータの差異に対する所見と、
00:06:47	いろいろ入れてございましたけれども、こういうふうな形でそれぞれエ リアに分ける形にしますと、そのところその所見をですね入れるとい うのが非常にちょっとおさまりが悪くなってしまいましたので、
00:06:58	18 ページの方に山登ってく傾向ということで所見を一つにまとめても非 常につけ足していただいております。以前ですね一つにまとめて書いて いたところ、コメントいただいて、それぞれの知識とチラシだとは聞いて おったんですが、やはりちょっとこの方がわかるようにといひますか 誤解がないだろうと。
00:07:15	よう私の判断でこういうふうな資料構成にさせて、
00:07:19	補足は以上でございます。
00:07:25	規制庁の竹田です。ありがとうございます。それではこの資料につつま して規制庁側から確認があればお願いします。
00:07:36	規制庁花崎です。この資料でですね大きな変更点として、7 ページの先 ほど説明されようとしてた点ですかね、記載のところ。
00:07:47	すべてて入力地震動は E+F の比較をしますというのは、大きな変更点 だと、こちらはとらえてますがまずその点はよろしいですか。
00:08:00	はい関西電力の郷でございます。はい。前回いただきますがご説明の通 り、すいませんコメントの通り、ここのデータの内容というのはきちん とわかるようにということで、追記させていただいたということでござ います。以上でございます。
00:08:15	規制庁浜崎です。それで前回までは、例えば東側地盤、当資料ですと 12 ページですね。

00:08:23	の品胎とか、第2保管工なんかは、2だったんで表層の影響入ってないんですが今回E+Fということで、
00:08:34	かなりスペクトルが違ってきてます。それ確認してますけども、
00:08:40	ただ、今まで、基本的にですね東側地盤といいますかこのZとか事情に関しては表層は無視する設計にしますということで、表層の条件が全く入ってなかったんですね。今回もこれ表層の条件が全く、
00:08:56	少なくともこの介護資料にはなくてですね、結果だけ示されてるんですけども、
00:09:02	これ、我々どういうふうに見たらよろしいんでしょうか。
00:09:12	関西電力の方でございます。ちょっとすいません。こちらで日本原燃と確認いたしますので少々お待ちください。
00:09:39	そうそう。うん。
00:09:43	うん。
00:09:55	...。はい。
00:09:57	はい。
00:10:10	関西電力の方でございませう待たせいたしました。とですね前回にも一つ目がちょっと思うんですけども、えっとですねこの箇所というのは流動化処理の前の表層の地盤になっているところでございます。
00:10:28	で、この流動化処理等での影響というものが、もともとだから設計の時には入っていなかったもんであるけれども今回本接続に当たりましてこれが、
00:10:40	流動化処理とか、入ってる形でのデータということで、お示しして、表層に対するパラメータスタディとして出そうと思えばこれを
00:10:53	やるということで、一番最後ですね19ページのところに、今回PS検損益、流動化処理の1ということで、このオレンジの新規マルをつけてございますけれども、ここのDたをもとに今回、比較をご提示させていただいていると。
00:11:11	よう位置づけるものでございます。すいません
00:11:14	お答えになっていないようでしたら越していただけますと幸いです。
00:11:17	はい規制庁浜崎です。ですね。
00:11:21	ちょっと点数で申し訳ないですけど、今のこうやって総20点ぐらいですってですねというのはですねまず、12ページのスペクトルの比較で、

00:11:31	Zとか中14の周辺の埋め戻しで使っている流動化処理の話はわかるんですけども、その物性値が、地盤の恣意性の今出てるものを使っているんでしょうけども、
00:11:45	平均モデルの方の表層の物性値等、決めてるのかとかですね、それと、最後、説明された19ページにしてもこの流動化処理のですねPS検層1ってというのは、今回新たに追加されてるんですけども、
00:12:02	これは今まで全く説明がなくて、
00:12:05	例えば今、梅田のところに新しく流動化処理のポイントが、
00:12:10	こう記載されてるんですけども、
00:12:12	その場合には、例えば、今まで埋戻し人として評価していたであろうを、ところが、流動化処理で登場するとしては、
00:12:23	カウントしてるのか、或いは、そうじゃないのかとかですね、そこら辺が全くこちら情報がないんですけども、
00:12:32	だから今の檀これ本来ですね、耐震建物08で細かく、そういう説明を受けて、その上でこういうパワーポイントに落としてもらう。
00:12:44	べきものが突然最終結果しか出てきてなくてですね非常にこちら面食らってます。
00:12:49	最低このパワーポイントにそういった流動化処理のポイントの話を追加するなりですね記載、説明をですね、
00:13:01	する必要があるというふうに考えますけれども、
00:13:04	対応できますでしょうか。
00:13:08	関西電力の野本でございます。失礼いたしました。えっとですね今の流動化処理どうの、PS検層のところがかっかかる話確かに追加のご説明がないままに、これちょっとお出ししてしまってる。
00:13:25	同じでございます、できましたらばこのパワーポイントの中に、ちょっと追記する形でさせていただければというふうに考えてございます。事実関係を申し上げますと、このですね19ページの地図をご覧を
00:13:41	マッピングをご覧いただければと思うんですけども、えっとですね、今回追加しているオレンジ白抜のポイントというのは4点ございます。
00:13:55	そのうちの2点が、先ほどご指摘がありましたように、埋め戻しのと重複しているポイントというふうになってござい。

00:14:05	今回ですね周辺及び一条4に対してのそれぞれの直下のデータというのは、ここのマッピングの中で矢印で書いております AB、B1 ですね、ここのポイントのデータを使って、設定していると。
00:14:23	ということでございまして、えっとですね平均の方を取る時には、このですね、いえ、オレンジ色抜きの4K、これをもちまして、平均を設定していると。
00:14:37	この両方で比較をしているというものになってございます。ここの説明が確かにですねこの中抜けておりますので、ちょっとご理解いただけないということがすみませんちょっと私も、
00:14:49	おっしゃっていただけ、今すぐ何か自分がわかってるような気になっていたということに気が付きましたので、起こってきさせていただきたいというふうに思っております。
00:15:00	これで、すいません。ご懸念事項解消しましたでしょ。すいません日本原燃からちょっと私の今のご回答で不足があれば、ご指摘いただきたいんですが、ある。
00:15:12	ある。
00:15:13	ある。すいませんちょっと私の説明に不足があるようですのでちょっとすいません。少々お待ちください。
00:15:31	どうぞ。
00:15:36	関西電力野本でございます。もう1点すいませんご説明すべきことが抜けてるといので今、日本原燃側から指摘を受けたんですねご説明させていただきます。えっとですね今、梅田の緑のポイントと、オレンジ白抜ポイント。大野。
00:15:51	両方が入ってるポイントというのが、このA-4のところと、それとB-2のところ2点ございますけれども、このポイントにつきましては、上がだから埋戻しどうしたが、
00:16:04	ルートが処理増という形でそれぞれのとったデータを、ここのところでそれぞれ使っていると、いう位置付けのものでございます。
00:16:13	これで、
00:16:16	これは申し訳ありませんご指摘いただけますと幸いです。以上です。
00:16:21	はい。規制庁箱崎です。口頭の説明として、100%、こちらでわかりましたと言い切れないところがあります例えば上が、

00:16:31	梅野でしたか、流動化処理だとかですね、具体的にどういう深さ関係になっているのだとかですねそこの情報。
00:16:41	も含めてですねいずれにしても耐震 08 のほうで詳細な説明が今後あるというふうに思ってますがそれでよろしいですか。
00:16:52	はい。関西電力野本でございます。はい。もちろんでございます御説明立ち上げようと思います。ありがとうございます。
00:16:58	はい規制庁浜崎です、最初の方の話、12 ページのスペックとすいません。
00:17:04	はい。すいません。院長、上出です。ちょっと確認させてください。
00:17:09	19 ページで言うと、
00:17:11	C のところが 1、いいのかなあと思う。
00:17:15	けど、
00:17:15	A. C の直下の条件、
00:17:21	指示、
00:17:23	地盤については、
00:17:25	赤い丸 1 点だけ、N6-4
00:17:31	後の物性り合ってるってことでまずいいですか。
00:17:37	はい。関西電力の方でございます。はい費につきましては、1 点ですのではい。そういうことでございます。
00:17:45	はい、規制庁紙ベースで、それと比較する平均地盤モデルというものの支持層部分については東側地盤に幾つかの赤丸がありますけど、これらの平均値で作ったもの。
00:18:00	ということでそれを重ね合わせて、
00:18:07	関西電力野本でございます。平均値は SOA、日野通りでございます。
00:18:14	はい、規制庁株です。その時に、今度表層の話を知ると、C、D、近傍の表層の、
00:18:25	物性値を使うといったときに、
00:18:28	石井の枠の中にあるか、外がオレンジで中、緑の前になって、先ほどの説明だと、上下で物性が分かれてるってことなんですけど、これって、
00:18:45	そのもの、ある協会から上が、常戻すのであれば流動化するぞという条件の表層を設定している。

00:19:05	関西電力の方でございます。ちょっと 20 関係確認板被膜の調書お待ちください。
00:20:26	関西電力の方でございます。大変お待たせいたしました。えっとですね、
00:20:32	まずですね表層として、今回分析
00:20:36	しております。やり方といたしましては、その緑のですね梅本日野につきましては、緑の当該のさっきですねその他ぴあがその埋め戻しの下、
00:20:51	表層を取っている場合であれば、そこの個別のエリアの梅本広野をデータとそれから平均の上戻しの平均のデータで比較をしている。
00:21:02	それで、当該のエリアがですね、流動化処理の、での競争を
00:21:11	とっておって、それで比較する場合は個別の流動化処理の
00:21:15	そこのデータとそれから平均の流動化処理とのデータで比較しているのすなわち、埋め戻しの Vs 名簿の人の比較、それから流動化処理と Vs、流動化処理との比較と、
00:21:28	いう形で、データを示しているものでありまして、今ですねお話ありましたような、埋め戻したと流動化処理のが、一連のものとしての一つの地盤として、評価をしてるというものではございません。以上が事実関係でございます。
00:21:43	すいませんちょっとお待たせして申し訳なかったんですけどちょっと積まぜんちょっとを確認しながらでありますので、時間がかかるのすみませんご容赦いただければと思います。以上です。
00:21:55	はい。規制庁上出です。15 ページに用表層の強いところもありますけど、
00:22:03	ここで書いてあるピンクの線ですね。
00:22:07	これが
00:22:10	どのデータを使ったのかと。
00:22:12	いう話でいうと、先ほど 19 ページの、
00:22:18	A-4 の、
00:22:19	緑、要は埋戻しどうであるという場合の D た何ですか。
00:22:31	関西電力の方でございます。ですね、今、横からそれはイエスだよという耳打ちはもらったんで、
00:22:39	私ですね、うまく理解しておりませんで今おっしゃてのヒータで

00:22:44	ところの焦燥について、富田土岐に、すいませんご質問もう一度お願いいたします。
00:22:54	はい。規制庁深見です。15 ページの石井立岩のピンクですね、これーにもって表層のデータは 19 ページの A-4、
00:23:05	A-4 は
00:23:07	オレンジと水戸清原ですけど、このうち緑の値だけ使って C の周りは全部名簿の指導と仮定した条件で、
00:23:18	出した線それが 15 ページのピンクの線ですってということで、
00:23:22	その通りでございます埋め戻しの条件での増えたということでございます。
00:23:28	はい。規制庁神です。その時に、
00:23:32	要は
00:23:33	し、実際は A-4 は、一部、流動化処理の一部埋め戻し等なのに、
00:23:41	近傍の条件と B つつ、
00:23:45	現実の値とはちょっと状態とはちょっと違うふうにはやっていると。
00:23:49	後藤なんですね。で、
00:23:51	その善し悪しもはまた話をすればいいと思うんですけど、とにかく資料として、そういうところがわかんないんですよ。AC の枠で囲ってあって、
00:24:03	緑丸とオレンジマルあるってことは、当然その近傍のデータという時は両方使ってるんだろうなと思うんだけども、実際は違うということなので、
00:24:14	要は、どのグラフ
00:24:17	どの線がどのうてたによって作られている、いるのかというのは、読み解けるように、まず資料 2、ちゃんと説明を加えて欲しいというのが、
00:24:29	意図なんですけど、議会、
00:24:34	関西電力の方でございます。承知いたしました。何かグラフがとれるの例。
00:24:40	根っこになっているデータがどの方農辺でのデータであるかという点でのどの色のデータであるかということがわかるように
00:24:52	何か必要だと、いうことを理解いたしました。一覧表みたいな形がいいかなどうですかね。どんな形でお示しするのがいいですか。
00:25:11	一覧表は、平賀伊井です。いいですか。

00:25:15	すみません関西電力の方でございます。こちらで一覧表にしてですね、それぞれのデータの件に該当する、データ点を不正利用とありますが、そのようなイメージで規制庁さんにご理解いただけるかなと思うんですけどいかがですか。
00:25:31	今ちょっと発生がある。規制庁の長谷川ですけど、その一覧表のイメージって言うてみてもらえ。
00:25:41	えっとですね一覧表としては、縦軸でも横軸でもいいんですけども、とですねそのそれぞれの
00:25:51	どういうイメージか。ちょっと待ってくださいね。今日本原燃のこちらの実務者が頭の中に入っているものを、今ちょっと書き出してもらっているんで、それを口頭でお伝えしますから、イメージが合ってるかどうかご確認いただこうと思います。できれば、
00:26:06	どっかに書いたやつを、
00:26:09	してもらおうとか、
00:26:12	そうですね、08の、
00:26:14	008の資料の、例えば、別紙の2-7、12ページぐらいの、
00:26:22	イメージなのかとか。
00:26:25	ちょっとこれは別に今じゃなくていいので、
00:26:29	このヒアリング終わるまでというか、この話終わるまでにそのイメージちゃんと出してもらいます。
00:26:39	わかりました。これ、
00:26:42	出たら、何か投影とか、
00:26:45	できるだってカメラあるじゃん。
00:26:47	占部。
00:26:48	落とせる。
00:26:55	確かに、確かにこれだとは思いますが、今だから規制庁さんとの意味共有できてないから、やっぱちょっとご覧いただいて、各委員からは、
00:27:07	刀禰、いえ、ワード資料の和田PDFの違いですね。
00:27:17	そしたらですね、すみません今先ほどおっしゃっていただいたように、このちょっとヒアリングの対応の方といいますか後でですね、このイメージでの一覧で、姫路行きようと思いますというのをちょっとお示します。

00:27:33	そのちょっとやり方はこちらで終わりまでに協議いたしますサミット後で、お示しいたします。
00:27:42	規制庁浜崎です。後からお願いしたいんですが、ちょっと今の上出の質問に関連するので1点だけ確認したいんですが、さっきの15ページのスペクトルの比較で、
00:27:54	平均物性の場合の表層のも、物性値に関しては、
00:28:00	梅田のA2棟ナンバーツーをベースに作ってますという話なんですけども、
00:28:07	ZとかG-14っていうのは、以前原電が提出されてる梅田のですね分布図を見ると、
00:28:17	そのエリア、何も書いてないんですね要は梅と、これ埋め等でいいんですか本当に、
00:28:35	規制庁浜崎です。表ございます。おっしゃっているのは15ページの、
00:28:40	ところの、Z24。はい。
00:28:44	そのところ1杯平均の
00:28:48	もう、平均地盤モデルの表層の物性値の決め方なんですけれども、
00:28:53	はい。それは、
00:28:55	A4とか、ナンバーツーの資料をもとに、めどとして評価してますっていう。
00:29:02	説明だったと思うんですけども。
00:29:07	入れてった言葉G4の周りって、もともとそのもともとは梅津だったんですか。
00:29:16	衛藤。
00:29:18	大きくすいません梅野と平均の線をめどとして評価しているというふうにご説明してたんだとすると、今の私が説明した平均の方も、
00:29:30	あれね、梅田でないという説明と多分そうしてるというのは理解いたしました、
00:29:36	技術関係すいません規制庁上出です。
00:29:41	あれですよ。表層の周辺ピンクの線は、B1から持ってきました。
00:29:49	黒の線は、
00:29:52	19ページにオレンジ丸四つありますけどこの四つの平均。
00:29:56	の、流動化処理の平均で黒い線が書いてます。
00:30:01	どうでしたっけ。

00:30:02	はい。そう説明さしあげました。浜崎ですけども。
00:30:07	流動化処理の方がいいんですけども、梅田として評価するっていうのが妥当かどうか。
00:30:13	Zとか、G14の、
00:30:17	周辺表層っていうのは、もともと梅田だったんですか。
00:30:23	ごめん。都市で評価してるのが妥当なのか
00:30:26	が私今よく理解できなかつたんですけども、斎藤はい規制庁はまだないんですけども、以前、梅田のエリアはこの領域が梅田です。
00:30:39	という形で、
00:30:41	原燃の方から説明資料出てます。
00:30:44	それを見ても、Zとか事業G14の周りって梅田になってないんで、何も書いてないんで、
00:30:51	あ、すいません、規制庁貨物浜崎さん今事業者の説明は、Zとか自由の周り、埋戻動として評価してなくて流動化処理で評価してますって言うている。
00:31:03	けど、それでも何か疑問が、
00:31:07	規制庁浜崎なんですけど
00:31:09	今これ平均モデルって、もともと野地の物性値で流動化処理っていうのは、実際その周辺を埋め戻したり、改良地盤改良したりということで、直下地盤の条件での表層地盤の条件というふうを受け取ってるんですけども、
00:31:26	もともと平均地盤モデルっていうのは、
00:31:30	元来の表層の物性値を考慮して、
00:31:35	モデル化しているというふうに思ってるんですけども、そうではないんですか。
00:31:42	関西電力の方でございます。今おっしゃってるのは、今の比較データの話をされてるんじゃないかともとの評価の時の表層の扱いがどうであったかということをもとになると。
00:31:54	はい、ご理解でよろしい。はい、規制庁野崎ですそうですねもともところは競争は無視するという条件しかないんで、もともとこの表層ってどうなってるんですかっていう質問なんなりますね。
00:32:06	表彰がないとして、2でやっていたっていう理解でいいんですよ。あ、すいませんここはもともと表層部ないものとして、任意でやってい

	たという理解でございまして、今私がこう言うと、今後、日本原燃から、うんという答えが返ってきました。
00:32:21	規制庁浜崎です。でもそれは設計上で、設計的考えとして無視する。してるんであって、もともとは表層あるわけですね。
00:32:29	もともとなかったんですかここ。
00:32:33	設計上確かに、都内として適切というのはそれは確かでございます。実際のものとして、どうかという点でいきますとこの応募、
00:32:44	今申し上げましたように表層地盤部分に、このあれですねと流動化処理度というのはこれはございます。その表層の影響がないものとして設計上を算定していたと。
00:32:59	4とかこれは技術関係でございます。ただ今回はこの表すいません小坂です。ちょっとヒアリングの予定と大分違うような議論が続いちゃっててちょっと論点整理したいんですけど。
00:33:12	今回の会合でこんな話までするつもりはなくて、原燃からちゃんとヒアリング資料としてDた一式わかるものが出てきてからヒアリングをすると。
00:33:23	いうことだったと思うので、ちょっと時期尚早かなというふうに思ってるんですけど、上出さん通します。
00:33:34	はい、上出です。
00:33:36	先ほど整理したように、とにかくグラフって何を控除したのかっていうところだ経過は、
00:33:45	まず資料として示されればいいのかなって中身の善し悪しなこれ現実と違うじゃないみたいな話はまた次のステップかなと思う。
00:33:55	今須賀羽咲さん。
00:33:59	はい、規制庁浜崎です今の進め方で理解しました。それで先ほど表をという話で、後程説明の方お願いします。
00:34:09	以上です。
00:34:15	でも黙って今のお話は理解いたしました。データはきちんとわかるように、お示したいというふうに思います。
00:34:25	はい古作です。途中で濱崎が言ったようにですね、本来であれば、ヒアリング資料がちゃんとそのデータも含めて耳をそろえて出てきていて、
00:34:36	内容を確認しながら

00:34:38	その扱いとしての妥当性みたいところで、疑義があるようなところを、介護で質疑応答すると。
00:34:46	ということなので、
00:34:50	先ほどみたいな話に本来だとあるんですけど、今回はそれよりもまずはその進捗状況ということでの状況紹介というだけの会合なので、
00:35:03	今後ちゃんとデータを示してくださいねということでしかなくて、今後そのデータを示す際には、今の言ったような話なんかは、ちゃんと Steering チームの方で
00:35:14	論点としての D たの提示が十分かと。
00:35:17	いうことを精査した上で提示いただき、ヒアリングに臨んでいただきたいというふうに思います。以上です。
00:35:26	はい。関西電力友田でございます。承知いたしました。
00:35:29	10、
00:35:32	この場じゃなくてね、会合の場では注文は、
00:35:35	しといた方がいい。
00:35:40	うん。
00:35:47	2 じゃなくて E+F 出ちゃう。
00:35:51	問題ね。そっか。
00:36:06	うん。
00:36:08	いいですか。はい。これだけ今の意味では事実確認として、
00:36:13	競争無視した、2E 持ってやってるっていうのが事実か。
00:36:19	になればいいんじゃない。
00:36:21	言いました。ありがとうございますはい。
00:36:28	規制庁浜崎ですけど、私の方からこの介護資料、特に地盤モデルについては特にこれ以上、確認事項ありません。
00:36:41	他の誰か、どなたかありますか。
00:36:55	中身でも特にはないです。
00:36:57	誰が好きなのでしょう。
00:37:01	規制庁の竹田です。それでは、その方が規制庁側、この資料につきまして確認はございますか。
00:37:11	よろしいでしょうか。
00:37:14	日本原燃の方からイメージ合わせの準備とかはまだできてないでしょうか。

00:37:23	関連のことです。ごめいす。
00:37:32	今もうすぐ出せるんだったら、は、
00:37:49	ある。
00:37:56	そのイメージちょっと私にも来てください。
00:38:05	埋まていないよ、後で。
00:38:08	古作です時間かかるようだったら、ちょっと
00:38:12	ヒアリング、じゃない会合資料のバージョンでも
00:38:16	Steering チームの設置の関係の話もまだ残ってるので、その辺りを、
00:38:22	先にやてしまてもいいかなと思ひすけど、今ですなえとカメラでお見せできる、準備ができてるのでちょっとここ、そう見てれば、
00:38:35	移ります。
00:38:45	違ひう。
00:38:48	データないかなてきます。
00:38:52	成長の単位でいうと今、パソコンの過熱されてると思ひんすけどそのデータ自体を移すことてできないですかちょっとさすがに見きれような気がするんですけど、でもうちの、
00:39:03	もう少しちょっとわかりやすいようなものは柘植益子山下先生、ちょっと今頑張れる。
00:39:11	世界頭。
00:39:15	支店長田力丹パソコンのてった写し前歯いけるとは思ひうんですけど、
00:39:23	両面ある。
00:39:28	申し訳ありませんお待たせして、チョコだと思ひております。少々お待ちください。
00:39:49	向井だけやててそんなんない。
00:39:55	なんでも何か。
00:39:59	それ違ひうだろう。奥野ですごいす。最近、08の大仲の第4-1-1表ですけれども、そういう形で副社長の長谷川ですけど、
00:40:13	それは知ってるんだよね。だからそれをアレンジするとどんなイメージになるんですかて。うん。
00:40:20	のが欲しかったんだけど、
00:40:22	はい。あれにするとですなこのデータ今2段といいすか、赤、または青とそれから緑になってますけどもこれにですな、あれに白抜の欄をもう一つ作ることになります。

00:40:36	だから、家の直下、
00:40:39	はい。
00:40:40	はいどうぞ。
00:40:41	はい。それからですねそれぞれのちょっカーのデータをどれでとったかというのはこれでは見えますけれども、平均をどれでとったかというのがこの情報には抜けておりますので、その情報がわかるように、グルーピングして、このグルーピングで変化とかを取ったと。
00:40:59	両センターがわかるようにお示しするというのを考えてございます。イメージはそういう、
00:41:05	規制庁の長谷川ですけどまずもうちょっと言うと、検討対象グループってあって、その左側にもう一つ欄を作って、中央とか東とか西っていうのを、
00:41:18	ちゃんとまず、
00:41:20	分けるんだらうね。
00:41:22	そうですねはい。
00:41:24	そして
00:41:27	多分細かいのが1個1個のグループになってるんで、
00:41:34	結局閉周辺っていうのは、どの縦も周辺ここは、
00:41:39	FAGAとかになってればいいのか。はい。で、多分そのあとにGとかDCとか、
00:41:47	4Bとか、なんかそういうのが来たり、
00:41:51	そんな感じで、平均っていうのは、
00:41:54	その平均地盤というのが難しいちょっと難しいんだけど、平均地盤っていうところは、多分さっき東側だとか例えば中央になると、
00:42:05	あるデータを全部使ってるんだけど、どこに近いデータを使ったかっていうと、
00:42:12	例えば、周辺っていうのは、Nさんの言うところNさんのEとかっていう、そう。
00:42:19	プロットプロットじゃなくてそれは各場所も、
00:42:25	こうやってもらえるといいんだけどな、我々はもう実はイメージ持っていて、
00:42:31	言ってるんですけど、
00:42:33	何となくわかります。

00:42:36	平均、平均は結局、例えば周辺とか F 施設周辺に、
00:42:43	5、
00:42:44	全体があるんですよ。例えば伊井とか JA の周りってというのは、そのデータはないので、その横に、
00:42:52	ただ単にランダムで並べちゃうと、よくわかんなくなっちゃうっていうことなんですけど。
00:43:00	A 表 1 という所で取っている、ここで書いているポイントが全部で次に 3 人、569
00:43:11	名。
00:43:12	七つあるけれども、
00:43:16	これが周辺に対する、よ。
00:43:23	あとは、
00:43:26	来てたわけなんですけど、まずですね、平均地盤モデルの対象としたのは、周辺だと。
00:43:34	N さん UN さん以後 NI-以後 NU、この四つですよ。
00:43:41	はいはい。F 施設だと、MSNTMT。
00:43:47	今のあったと、まず分離するということです。
00:43:54	平均で使った PS 検層子直下地盤の PS 検層孔。
00:44:00	はい。
00:44:02	で、C が地盤については、平均と直下ですねあと、
00:44:07	衛藤さん、その次の列に表層、梅本指導を設定した時の PS 検層孔が各グループの
00:44:17	ところに行った対象、対応するところに記載するという形になります。
00:44:24	わかりとですね、ちょっと私の理解で復唱させていただきます。今の移させていただいてる第 4-1 の費用に関しまして、まずこれがですね中央東費のそのグループというのを左側に変えさせていただく。
00:44:40	それからその真ん中ですね、データのあるこの部分に関しましては、どれを平均としてとっているかと、いうことの識別を書かせていただいて、このデータで平均をとっているそれでその直下で取ってるのはこれであると。
00:44:58	ということが秘密できるような形で、この表の中で書かせていただくと。そうすると、今、パワーポイントを出させていただいているところのグラフがですね、何をもとに書かれたものかがわかるようになる。

00:45:11	で、今ですね赤またはそれから緑とだけ書いてますけども、これにオレンジ色抜きも付け加えさせていただいて、これを整理させていただくと、こういうイメージを私は持ちました。
00:45:25	なっておりますでしょうか日本原燃の方からも、ちょっとイメージが私説明者が違うってということやったら声を上げてください。
00:45:33	江藤室長の長谷川ですけど、AとFだけでもいいので、ちょっとだからまだこの後話続くから、作ってみてください。
00:45:46	ちょっとだけでいいので、今イメージを、この後の議論の間に、少し作って、田井さんの姫路湯本です。はい。
00:45:57	承知いたしました。いやこちらでちょっと作業、今、高良っていただくと思います。あともちろん入ってる。
00:46:08	アの時のSAとそれではまた後程、提示いただくということをお願いいたします。
00:46:15	それでは、会合資料の、
00:46:18	等体制の強化の
00:46:21	各部分は何でこちらの説明は、この資料で伺うと、メーターだということによろしいです。
00:46:27	なんです。
00:46:34	違う。
00:46:37	はい。
00:46:40	はい。繰り上げの継続です審査会合資料の2ページはサブリ書いてますので次の資料のヒアリングチームの設置といったところで、簡単に説明させていただきます。前回、
00:46:53	受けたコメントを受けて少し目的なんかを使って、書き直しております。まず1ポツの目的のところの一番上のマルか0一番大事なポイントだと思っております。
00:47:06	実行可能な設営技術的の説明方針、実行可能なスケジュール及びその進捗管理監視、
00:47:13	伊豆牟田を經由して、審査を付託的に、電子させるといったところを目的に明確にくださいいただきました。それから2ポツのヒアリングの役割のところですけども、

00:47:25	加来常務の説明、(1)のところですけども、加来常務の説明にあたって、事前に確認が必要な項目を把握し、調査に必要な要は整理に必要な時間もちゃんと踏まえて計画を作る。
00:47:39	きっちり10個からの計画を作るといったところを明記させていただきました。
00:47:43	それから、2ポツの大事なところ、ヒアリングの後でこれは今、実践していただいた通りこのような方、野本がやったような形で進めさせていただくのかなあというふうに思っております
00:47:55	また、ヒアリングの資料の作成方針につきましてはですね、細かい資料を作るのはやはりヒアリングチームでできませんので大きな方針なんかちゃんと、
00:48:05	明示して、ちゃんと実務部隊にそれをインプットするという役割をやりたいというふうに考えております。Steeringのチームの設置のポイントは以上でございます。コメントをお願いいたします。
00:48:20	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。それでは今の説明につきまして各ポイントあればお願いいたします。
00:48:33	規制庁の谷井です。
00:48:35	ちょっと頭の体操だったんですけど、今日例えば今説明をしようとされたときに、木本さんでた説明を対応されたんですけどこの、
00:48:44	ここでっていう名前もちょっとあったんですけど、今回のやつはもともとに近いようなところの地盤とかそこらの話だったんで、やられたところもある気がするんですけど、今後例えばDBとかSAとか
00:49:03	競争だったんですけどもちょっと野本が日本原燃に確認して、野本の言葉でさ、野本がそれを聞いてオウム返して返してるところなんかあるので、この辺のところの細かなところは、少し実務者に回答させた方が、
00:49:17	ヒアリングで円滑に進むのかなあと。ただし最終的にどう判断してどう直すとか、大きなところはやはりSteeringがきっちりコントロールすべきですけども、
00:49:27	細かな質疑とか、どういう、
00:49:31	どういう事実で書いてるのかといったところについては実務エンジン部門が答えても良いのかなと私は考えておりますけどその辺、今日は少し榎本が答えますちょっとタイムラグがあって、

00:49:42	どうかなというのがありましたので、私としては、その辺は実務者に回答させたいと思ってるんですけど、その辺いかがでしょうか。規制庁の田尻です。まず認識としてなんですけど、Steering チームの人は全体像は当然把握していて、概略は当然説明できる状態になってヒアリングに臨みますというのがまずね。
00:50:01	だろうと思っていて、その上で、過去の経緯があるのかファクトであるとか、
00:50:06	多少、担当から吸い出した方がいいところに関しては、今日みたいなやり方をするかそれともその場で簡単な説明になる
00:50:16	今言われたのっていうのは、放射安全ですよ。
00:50:21	コース公社でお願いしたい。
00:50:23	規制庁佐治です。それを最初からその人が説明するんじゃなくて、まず大本としては Steering チームの主盤方向性として説明をして、細かな質疑のところ、全体を書くというのは本当は嘘みたいなのところに関してはそこらの人に他者を振ることがあるぐらいに持ってけばいいですか。
00:50:40	はい。そうしないと許可の時だったとかいう話の時にですね、Steering メンバーが石原は別ですけども他の Steering メンバーがそれをしゃべったところでまた切り固定てるだけになりますので、
00:50:53	そういう事実のところファクトのところは実務部隊に回答させたいというふうに考えております。
00:50:59	規制庁の谷ですページで困る過去の流れとかの話を出しましたけど、許可の話は、設工認説明するんだったらヒアリングチームにしても把握してないとおかしい話なんで、
00:51:11	許可の話なら全部するっちゃう話ではなくて、細かな伯東とかで、多少振ることがあるぐらいの認識で一応理解をしたので、状況はわかりました。
00:51:23	はい。
00:51:25	古作ですけど、今の話はですね、
00:51:30	資料でいうと、
00:51:33	2 ポツの (ウ) に、
00:51:37	で、
00:51:38	一つ目のレ点で冒頭で目的達成目標の説明と言ってて冒頭だけでしかなくて、あとヒアリングの最初の説明資料ごとの説明だったり、

00:51:50	その QA というのは、基本的には担当がエンジンがやり、Steering はその時に、変な方向だったら趣旨を確認したり、
00:52:02	促すんだみたいな雰囲気書かれているので、
00:52:05	そうじゃないんじゃないですかってことで、
00:52:08	話をしたと思ってます。なので最初で冒頭だけではなくて、
00:52:14	各資料の説明なり、QA も Steering であって、そのうち事実関係については、直接そのエンジンがしゃべり始めるのではなくて、
00:52:26	ちゃんと Steering が、この部分こういうことを説明してくださいと。
00:52:31	ということで、明確にした上で発言を、
00:52:35	されると。
00:52:36	ということで認識を今してるんですけどいいですか。
00:52:43	基本はそうだと思うんですけどもちょっと今回のところは残ってるから、言われたんですけど、やっていく中でですね、少し Steering で、
00:52:55	数名ですすね本当にすべて説明が進めるのかといったところのちょっと地域とちょっと不安もありますので、もしその辺曖昧なところがあるのは事実だと思ってます。
00:53:07	できるだけ趣旨に沿ってペアリングがコントロール、コントロールはするのは間違いないので、コントロールする中で、少し実務者の説明が増えたり、HR の条文とか内容によっては少し、
00:53:19	多少前後するのかなというのが実態のところかなと思っております。その辺どうでしょうか。
00:53:25	規制庁の安保規制庁の長谷川ですけれども、全く違ってらなっているのが、印象で基本的には古作が言ったのが、ぎりぎり許せるケースぐらい。
00:53:38	ではある。Steering チームが把握してないんだったらそもそもヒアリングも会合もしない。
00:53:45	ちゃんと勉強してからやってください。で、今はね 4 月に入って新しい体制の中で、中身よくわからないかもしれないけれども、
00:53:56	その中でやるのであればそれは原燃の中、やることをきちっと基本的なところはしっかり理解した上で、
00:54:06	やらないと Steering チームとして手をなしていない。
00:54:11	野木基本原則はすべて、我々からいいの、等のやりとり要するに我々が例えばインプットしたものが、

00:54:20	皆さんにインプットされたものは、アウトプットは皆さん Steering チームが出すというのが大原則。
00:54:29	でその大原則は譲れない。
00:54:32	それが今回、今までのうまくいかなかったところの肝になっていると思います。責任を明確にするって言う意味では、
00:54:46	先ほど古作が参ったところがぎりぎりのラインで、担当に答えさせてもいいけれども、何を答えるべきかは Steering チームがきちっと言って、
00:54:58	その答えをあらかじめ確認し、それは、
00:55:03	だからさ、それでその善し悪しを判断した上でちゃんとやる時間がかかってもいい。
00:55:11	それにそこにもものすごく時間がかかるのであればその場で答えなくてもいいし、その場でヒアリングを打ち切れればいい。
00:55:20	準備ができてないんだったらやらなければいい。
00:55:23	要するにやるに値しない
00:55:26	ていう、そういう認識でいるんですけど、ちょっと大分異なってるんですけど。
00:55:32	少し甘くないですか。
00:55:41	すいませんちょっと持ち帰らせてしまいます。
00:55:46	ペアリングがメインになってる考えは持っておりますのでそこは間違っ て私も認識は間違っていないと思うんで少し、資料の説明のところでは ね、
00:55:58	少し実務に任せたいなというところがあったのは事実ですんで、今おっ しゃった通り長谷川さんと小阪さんの意見を聞いて、それでするなら ば、少しメンバーもですね、本当にそしたら、伊佐勇スポン参与名で、
00:56:12	全部回るのかとまだ身の丈に合ったところで少ない数で進みますので何 とかなるんですけど少し、そういう進歩危惧もありますので、今のところ、
00:56:23	あまり実のところできるものがあまりないので、そのやり方はできるの かなと思っております。ただ、少し共通中になんかでき出してきた時に は、大分厳しい状況になってくるその時までにはやはり Steering メンバ ーもふやしていったり、
00:56:38	いろいろ考えないといけないかなというのが今の私の感想でございます。

00:56:42	件数を理解いたしました。
00:56:45	規制庁の長谷川ですけど、だから今比ステイリングチームというのは、5人でやっていると。だから結局、5人が理解し制御できる範囲でしかできないっていう我々もそういう認識。
00:56:58	なのでそれでいいはずなんですよ。で、
00:57:04	マルチというかたくさん同時にやりたいのであれば、そういった人間を原燃がきちっと見極めて育ててできるようにしたら、範囲が広がると。
00:57:16	いう、結局今まで、300人400人を体育館に集めていても、誰1人ちゃんと適切に制御できていない。
00:57:26	でみんながバラバラになっているのが問題だ、あったわけだから、それを皆さん Steering チームが、きちっと管理、整理をして、
00:57:38	要するに、情報の展開とその回収、そして我々の説明っていうそういうことをしっかりちゃんと Steering チームがハンドリングで、
00:57:49	するというそれが、あなたたちのその Steering チームの役割であるという、僕はそういう認識をしているんで、そこができる量しかさばけないっていうことなんですよ。
00:58:05	はい。実際問題として準備ができてないでね、今のメンバーでスタートは十分切れると思いますので、そのようにやっていきたいと思います。
00:58:15	だから今回は、地盤の話と、
00:58:20	そ竜巻っぽいその一部、それもほんの一部だけをまずスタートさせましょうっていうそういうことだったんじゃないですか。
00:58:30	井村玉木はちょっと10、違うけど、そこの部分、わからないけどある部分の設備の一部の設備の設備具体的な設備じゃないかもしれないけど、ある一部分
00:58:43	の大きく二つぐらいしかないんじゃない。
00:58:49	はい。
00:58:52	いっぱいご趣旨理解しましたのでそのように Steering チームもう一度、ちゃんと訪ね引き直してやりたいと思います。
00:59:01	他の
00:59:02	規制庁の長谷川ですけども、他の Steering チームのメンバーは、そういうことが、今日初めて聞いたっていう。
00:59:12	なんか多分そういう感じいいん
00:59:15	ん。

00:59:16	要は隊長である決得さんが今田に対して、発電をするイコール、
00:59:22	他の人もそういう感覚でいたのではないかと思うだから、かなり責任が重い。
00:59:28	ですけれども大丈夫ですか。
00:59:32	古作です。
00:59:34	今、いきなり行ったわけじゃなくてですね、Steering チーム作りますと言われたときの、面談だったり前回ヒアリングとかで、
00:59:43	お伝えをしていたはずで、その点ではノートさん石黒さんはこちらから話は聞いていたと思うんですけど、
00:59:53	まずお2人は認識としていかがですか。
01:00:02	関西電力の石黒です。江藤。
01:00:05	私はですね、
01:00:08	4月6日に、古作さん長谷川さん。
01:00:12	話を聞いていて、頭に基本的にステアリングでやるんですよっていう話は、そのときにお聞きしました。
01:00:22	そんな時私もちょっとすべて発言 Steering チームだけですかねっていうような話をちょっとさせていただいて、
01:00:33	その時、その一番いくすべて Steering チームっていうわけではないかもっていうようなやりとりがあったので、先ほどおっしゃっていただきましたファクトの事務とかですね。
01:00:44	そういったところについて、
01:00:47	Steering チームを確認したものの。
01:00:53	担当者が説明するっていうのはあるのかなというふうには考えていたところ、
01:00:58	ルールは以上です。
01:01:01	古作です。それで言うとは担当者にしゃべらせるという時には、しゃべる内容をちゃんと指定をして、Steering チーム、
01:01:12	そしてしっかりと握った状態でしゃべらせるということでは理解をして、
01:01:18	いるという理解でいいですか。
01:01:24	関西電力の石黒です。はい Steering チームがコントロールしている情報をお出しするという認識は変わりませんのでその認識は正しいと。
01:01:34	以上です。

01:01:35	はい、古作です。それで言うと、先ほど野本さんがやっておられたような形になって若干その事実関係もう、ませんので、一番、
01:01:47	野本さんがしゃべられた部分は振ってもいいかなぐらいになる部分、若干あったかなと思いますけど、あまりずれはないというふうに、
01:01:57	思っていて、管理官も言ったように、時間がかかってもいいということなのでしっかりと握っていただきたいと。
01:02:06	ということで思いますけど、堂本さん、それで認識、いいですか。
01:02:16	関西電力の方でございます。すいません今ちょっと議論の間ですね私お出しするための責任って同じ、
01:02:27	今の議論 HEPA ではフォローはできていないんですけども何をお答えする。
01:02:36	榎本さんが、
01:02:38	対応したのと同じようなやり方で今後も、
01:02:42	同じような
01:02:42	ファクターのところはかかった。
01:02:46	ちゃんと我々
01:02:47	意識したものを出し、
01:02:49	けども、
01:02:50	基本的に聞かれたところに対しては、左中
01:02:55	確かにその情報をですね規制庁さんにお出しするそれから規制庁さんから聞かれたコメントをですねちゃんと日本原燃として装着するのは Steering チームの仕事だと、いうふうにしてあるのがおります。今日ですね、
01:03:09	ヒアリングでも
01:03:10	ちょっとお時間いただいたようにですね、私もこれ専門外ですので、事実関係を確認する
01:03:15	時間をいただくという
01:03:17	のはちょっとございますし、でですね事実関係を、これちょっと時間を短縮するために、日本原燃から直接戸建てでも私が先そしゃくできなければ、それどういうことだなというようなやりとりをちょっと目前でさしていただくと。
01:03:32	いうことはあり得るかなというふうに思っております。討議のご説明で、今のお答えの、

01:03:38	はい。ご存知です何、十分です。
01:03:44	さんが1回実践されたということなので、認識はずれてないかなというふうに、
01:03:50	ここまでの関係から決得さん、事務長がいなんかずれてたっていう感じがしますが、あと当間石原さんはこれまでそういうふうにはやっておられたので、
01:04:00	心配ないと思うんですけど、あと今村さんは
01:04:06	これも面談では参加されてなかったところなんですけど、ここまで聞いたところで、認識いかがですか。
01:04:15	はい。日本原燃今村です。ですね、どういうヒアリングの時のですね、受け答えをどういうレベルでやろうっていうのは、結構 Steering チームの中でもかなり議論いたしました。
01:04:30	で、
01:04:32	できればですね、私はどちらかというと決得よりのやり方の方がいいなというのは、私の心の中では思っておりました。
01:04:44	で、基本的にですね、やっぱりアイテムいろいろございますので、いろんなところに、私、実際に担当者個人個人とですね、
01:04:56	いろいろ話して、やり方を決めて進めていくっていう、
01:05:03	そちらにもものすごく力を注ぎたいなということもありましたので、そういうので、自分の中でいろいろと理解した上で、
01:05:14	それで、こういう説明をしようかというのを、担当者等と話した上で、担当者が、それをきちんと話すのを横で見届けながら、
01:05:25	それちゃうかとかいうようなですね、そういうような横で、すみません指導等も含めながら、ヒアリングを進めていくというのが、
01:05:35	すごく日本原燃の、何ていうんすかねヒアリング能力向上のためにもいいですし、当然その前にですねこういうふうに話していこうよっていうような、密なコミュニケーションは、
01:05:48	私らの方でもしますので、そういうやり方がいいのかなというふうに思っておりました。
01:05:54	はい。以上です。はい。私の考えとしては以上ですすみません。衛藤。
01:06:01	今村さんは、原燃にこられて、
01:06:03	何年になります。

01:06:07	私はあ、すみません今日本原燃今村です。私は原燃に来て2年半程度になります。で、今年の今年ですね
01:06:18	年が明けるまでは、保全部門の方で、機械のメンテナンスの方の仕事をしておまして、年明けてからですね、こちらでどこに関係の、
01:06:30	サポートするような形で入っております。以上です。
01:06:34	はい。補足です。
01:06:37	その点でわー原燃の実情はもご理解いただいているんだらうなど。
01:06:43	思っていますね、確かに言われるようにできるのであれば、
01:06:48	それはその方がいい、こしたことはなくて、
01:06:51	それを、なのでこちらもそういう進め方を許容していたんですけど、一向によくないから、今みたいな話をしているということをご認識いただけないかなと思いますけどいかがですか。
01:07:06	はいそれは認識はしております。ですね私も今担当者ですね、いろんなコメント回答とかですね一つ一つ膝突き合わせながらやっておりますけれども、
01:07:18	やっぱり認識を一つにして、こういう改革やっていこうよと一つ一つやるにはかなり時間はかかってます。でも、やっぱりちょっとそれをですね、忍耐よくやっていくっていうことがですね、
01:07:31	将来的にいいのかなというのを考えながら、今、仕事をしているというのが実態でございます。規制庁の長谷川ですけど、今村さんの持っているところは、
01:07:43	将来的な姿としては多分そうなるんですよ。まずは、Steering チームが見本を見せなさいと。
01:07:53	いうそういうことなんですよ。
01:07:56	そして中でいろんな議論をして、理解をしてっていうのは、それはどんどんやらせよう。そういう過程の中で、
01:08:06	まずは、我々との関係では今村さんが、見本をみんなに見せる。
01:08:14	説明の仕方受け答えなり、鳥飼の仕方も進まずそれをやるで、それをやっていくと今、今村さんが、誰々さんに、
01:08:26	膝を突き合わせて何かやっていると確認して、いや誰々さんにやらせようという、誰々さんっていう人が次の Steering チームに入ってもらえるように、それは中で準備をして、

01:08:40	そしてふやしていくというそういう過程を踏んでいくんじゃないかなと 思っているんですよ。
01:08:47	この話はいつも管理者がさぼるんで、まずは今村さんがサボらないため には今村さんがしゃべるしかないんですよ。
01:08:59	そういうことも、
01:09:01	今村さんがしゃべりたくなかったら、ふやさないと駄目だと。
01:09:08	BU だから今村さんは自分でちゃんと、我々との関係で理解して説明を すると、そしてそれをみんなに見せて、実行ができて次の人が、
01:09:20	でき上がったら卒業できるかもしれない。
01:09:23	システム的にはそんなイメージなんじゃないですか。ふやさまずふやす っていうことが大事なんですよ。そのために皆さんが見本を見せるん。
01:09:32	ということだと思うんですけどいかがですか。
01:09:38	はい。日本原燃今村です。おっしゃってることご最もだと思いますので そういう方向ですね、努力していきたいと思います。以上です。
01:09:47	はい古作です。決得さん。
01:09:50	一応実働の4名、そういう石原さんからはコメントもらえませんでした けど、
01:09:57	お話聞きましたけど、決得さんとしてよろしいですか。
01:10:01	はい。
01:10:03	身の丈にあって1個1個ですのでそれで進めさせていただきます。
01:10:10	古作です。その上でですねそもそもヒアリングに臨む前に、2ポツ(1) でその計画の策定管理ということがあって、
01:10:22	計画の中にワー資料作成の計画もあるんですけどヒアリング、
01:10:30	どう進めていくんだということもあってですね、こちらスケジュール の調整とかがあるので、どういうふうに進めていくんだってところ はどうする、やっていくつもりですか。
01:10:48	はい、仁尾下西原でございます。安井ですいません。はい。規制庁の長 谷川ですこれ石原さんが答えるべき話じゃないんじゃないかと思うんだ けど。
01:11:10	売り上げ聞ける。はい決得です当時、実はですね Steering 今月、
01:11:18	初めから実働しましていろいろ聞き取りをしてるような状況です。わか ってきたことはですねやはり設計をして物は作った後もですねその数が 多いのと、

01:11:31	統一された設計で設計というか、統一された考えで引き合わずできるようなことができてないのが今わかっているが、その辺今ヒアリングが今把握してる最中です。
01:11:42	それで計画を作らないとやることをちゃんと明確にして、それをちゃんと積み上げた計画を作って、まず、互いのスケジュールを作ってそのあとに規制庁さんにどう説明していくのかと。
01:11:54	いたことをやっていかなあかんというちょっと本当に基礎的なところになってます。そっから始めないと、無理だということを今気がついておりますので、そこから始めたいと思います。
01:12:10	よろしいでしょうか。古作です。ごめんなさい。まだそのフェーズであって、ヒアリングを再開できる段階にありませんということで来週会合説明いただけるってことですかね。
01:12:21	地盤はちょっとまだ少しながらも進めています他のところですね、まだそのレベルになっていないというのが、実態ですのでそういうふうに説明させていただこうと思います。
01:12:34	規制庁、鍛冶です。
01:12:36	共通 12 という科目数も同じですか。
01:12:41	も、
01:12:42	MOX は、少し
01:12:47	ひな形としてやりたいところもあるんですけどそこはもう今、中身、石原中心に確認して、スケジュールをちゃんと見せしない社内のスケジュールを組んだ後に、ヒアリングスケジュールというのが、順番だと思っております。
01:13:00	規制庁、田尻です。その吸い上げっていうのはもう決得さんが今されてるのかどうかなんですけど、今 Steering チームの方 4 名おられてそれぞれ、
01:13:13	先ほど檀が説明されようとした内容が今の決得さんの説明と同じとは思ってないんですけど、その辺りは状況どんな感じでしたっけ。
01:13:27	先ほど医者の説明書的な資料の
01:13:32	パワーポイントがエクセルからこの、この資料で状況説明しようとしたので、少し私言うたら総論的な話ごめんなさい、大坂です。
01:13:40	もし、伊勢原さんがそういうつもりなんだとしたら、ちょっと違って、

01:13:45	その具体私聞いたのはその舞台に入る前に、そもそもどういうプロセスを踏んで、こちらと認識を合わせた形で進めていくかという、
01:13:57	進め方の話だったんですが、具体のスケジュールじゃなくて、
01:14:03	なので、管理官からは決得さんじゃないですかというようなことを、
01:14:08	行ったということなんですけど。
01:14:11	さらに言うと、さっき今のやりとりからも決得さんは MOX のことを考えてないみたいですけど、
01:14:19	確かに最初に副事業部長かもしれませんが、
01:14:23	MOX も含めた設工認の副責任者なんですよ。
01:14:29	はい。
01:14:31	古作です。だからこそ、Steering チーム長なんですよ。
01:14:36	これ最初の Steering じゃないですよ。
01:14:40	はい全体全体だと思って。
01:14:42	設工認をやっていく全体だと。
01:14:45	はい、古作です。であればそういったところは MOX も含めて全体としてどうしていくか、ヒアリングをどう組み立てていくかっていうのをマネジメントするのは決得さんの仕事ですよ。
01:15:00	はい。今ちょっとすいません田井処理の方の形態にかまけておまして、再処理の形態ばかりちょっとチェックしているような状況でございます。
01:15:11	古作です。
01:15:14	そのチェックをして、していくのは Steering チームの人がそれぞれ、担当者をあたっていけばいいことであって、
01:15:22	そういったその作業をしつつ、全体どう進めていけるかということを計画立てるのがチーム長なのかなあと。
01:15:30	思っていました。
01:15:33	で、
01:15:35	こちらから申し上げたいのは、Steering チームが—どんなグリッププー—をしているのか。
01:15:44	どんな説明方針とし、資料作成方針、
01:15:50	になってるのかが、こちらわからないと。
01:15:53	資料の提出と言われてもどんな資料が提出されるのかわからない。

01:15:58	結果としてその提出資料を、どれぐらいの時間をかけてみてヒアリングに臨まなきゃいけないのかがわからないと。
01:16:06	ということがあって、
01:16:08	それをどういうタイミングでどう、
01:16:12	こちらに情報提示していただけるか。
01:16:15	いう古藤がないとヒアリングスケジュール決められないんで、どう進めるつもりかを聞いたかったんです。
01:16:23	いかがですか。
01:16:24	そういう点ではですねまだ
01:16:29	タラタラない、社内的にちゃんと整理しなきゃいけない。
01:16:34	技術を今掴んでおりましたそれを整理するなどだけかかるかというのを講習ぐらいで、各主要条文ですけども、どのぐらいかかるかという大まかなさらいのスケジュールを、ごめんなさい、古作です。
01:16:47	決得さん何か根本的にずれてる気がするんですけど、それって、
01:16:52	前回位のヒアリングで説明したことと違ってて、
01:16:57	各条文の対応なんて、とりあえず無理なんでやめますと。
01:17:03	とりあえずは、耐震の地盤と。
01:17:06	MOX での構造設計の説明のひな形と、
01:17:11	SA についての 1 ポツでの何か、
01:17:15	今更何言ってんだという感じはしますけど 1 ポツの整理をしますと言われていて、
01:17:21	それと違うことを今言われてるんですけどどういうことですか。
01:17:27	すいません全体を話すつもりで今しゃべっておりました。今、
01:17:32	古作さんが聞いたかったのは、地盤と、木製の一部、それと衛星の一部、ここのスケジュールですと、
01:17:40	もう少し進捗の話ができると思います。はい。
01:17:44	古作ですだから。そう。別 3 項目のそれぞれについて説明する。
01:17:49	とりあえずやると言ってたその 3 項目は、
01:17:54	どういうふうはその資料の作成方針を作って、どのタイミングでどういうようなものだから、どれぐらいの時間でやらせてくれという情報提示をどうするつもりかと。
01:18:04	いうことを聞いているんですけど、何で決得さんは妙に具体的話をしたがるんですかね。

01:18:17	具体的な話で言いますと、
01:18:20	すいません決得さんが決得さん自体をグリップできてないようなので、
01:18:25	ヒアリングやめましょうか。
01:18:33	今日はこのぐらい
01:18:39	個室の支出をちょっと、すみません、中で、今言われていることを私が理解していつもより決得に伝えて、もう一度、スタートしましてちょっとだけ待ってください。
01:18:51	はい。補足ですよろしくお願いします。
01:18:55	伊勢ちゃんたちちなみにこの間にさっきの野呂さんのやつとかできるんだったら時間を潰せますけど。
01:19:08	ですね表のイメージはこのことができました。
01:19:12	あちら
01:19:17	と思ったらちょっと。
01:19:24	違う出てきたりする。
01:19:28	移ったあ、すみません今投影したものは見えておりますでしょうか。高見小阪です見えてます。
01:19:35	はい。ですねなあ。先ほど道下批評を少し加工してるんですけども一番左側にですね、中央東西野を五味を書きまして、
01:19:47	右側の説明欄の方は、3、三つの欄の5、
01:19:57	睡眠っていう、
01:20:00	とか、
01:20:10	アッチャン。
01:20:11	規制庁の長谷川ですけど、まず平均物性のところは多分合ってるんだらうと思うんですけど、例えばAとF施設の、
01:20:22	間のところに点線が、を入れると。
01:20:28	多分減るいうと、NUまでは周辺の近いところにあるんだよね。
01:20:35	そうですね。だからそこに麻生そこに何か点線入れる感じになるのかな。
01:20:42	ここでいいの。
01:20:46	いえ、そう
01:20:52	Aとかいうのは1、平均物性が、結局平均物性ってのは周辺とF施設周辺に偏ってて、EとかGAの周りのデータはないと。
01:21:05	いうふうにね。

01:21:07	なるわけですね。
01:21:12	で有川ですけども、
01:21:17	うん。そういうものが、
01:21:21	用紙払います。我々との間でわかってれば訂正あえて引くことないですけど、イメージはそうそういうことですよっていう。
01:21:33	そうですねおっしゃる通りです。他を、宗井関のおっしゃる通りです。今レセコン訂正入れることでこれがあたかもこうデータをこう分けてるように
01:21:43	見えないかという心配を私してしまう。
01:21:46	認識がちゃんとあれば、大丈夫だというふうには思います。うん。
01:21:50	多分同じように東予小南同じになるはずなんで、
01:21:56	ちょっと
01:21:56	細かい話は、
01:21:59	ただちょっと、日本原電はこれであまり整理できますか。
01:22:04	近くの方の場合ですか。
01:22:09	大丈夫。今おっしゃってる後でちゃんとデータの点線が決め切れる。
01:22:15	何か変だよ。あれね。
01:22:17	平均満 10 ページ、名簿の指導の関係でございます直接入れてもいいける。
01:22:24	いやあ、
01:22:27	朝起きたら、これ、
01:22:29	はい。
01:22:32	笹島成田です。
01:22:35	金井とはわけわかんない。
01:22:39	TAF だけ。
01:22:41	衛藤小古作です。ちょっと細かな話で申し訳ないんですけど。
01:22:47	中央地盤能その他の、
01:22:51	D6 っていうのは直下では使えませんということだと思っんですけど。
01:22:58	類似の関係で、kt9、
01:23:04	ガー直下に入ってるんですけど、
01:23:08	これは、
01:23:10	大分
01:23:12	D6 よりも外れてるんですけど、何に使ってんですか。

01:23:23	これは、
01:23:24	ずれてるんだな。
01:23:33	これは筈ですけど、左上の図面戻し、緑丸です。
01:23:38	竹井ききょうですね。
01:23:39	これは
01:23:41	移動の、これ平均が、
01:23:45	フィリピンになっていて、突端使っていないな。
01:23:50	というのが一番、古作ですそうすると今、直轄性っていうところに兄弟休会であるんですけど間違いですね。
01:23:59	すいません、今ですねこのデータイメージをお示しそこまで精査できてないってことはわかりましたわかりました。
01:24:09	何杯とそのデータを、
01:24:16	はい。わかります。補足ですわかりました日本みたいな感じで見ていくんだということで大分認識を共有できたと思いますので、データとして整理していただければと思います。
01:24:28	うん。
01:24:29	両名が社員の方のデータもイメージあっておりますですかおんなじようになれるところなのかなというふうにやって、
01:24:37	やってやったんですけども、
01:24:40	古作です。大体大丈夫だと思うんですけど先ほどの色つきで
01:24:48	D0 もついていた、深瀬深さで違うんでとかって言った田谷IIはどうなります。ちょっと多分備考で書いてある、それからその下にさ、
01:25:00	ダブルカウントされると。
01:25:04	はい。補足ですその時に少し注釈でも入れていただいて、どういうデータの使い方なのかということがわかるようにしていただけますか。
01:25:13	例えばあれですね A-4 であれば、これにあんまりをつけて、これは埋め戻しと流動化処理度の
01:25:25	データをそれぞれ取って使ってるっていうような強弱を下に入れるとその意味ですかね。
01:25:33	はい、高坂です。そうですねちょっと注釈のか、内容はもうちょっと何かわかるようにできないかなとは思いますが。
01:25:44	両方使いますだけだと、なんでそれでいいんだになっちゃうんで。

01:25:48	実態がどうだから、こういう部分をこう使いますということがわかるようにしてください。
01:25:54	わかりましたこういうふうに使っていますんで、なぜ、そう。それでいいのかといいますか、それでできてるなデータを使ってる。
01:26:04	このたびお大事故を、
01:26:08	当然
01:26:09	それをご提案できるようなものを、五つ目や、
01:26:15	ボルテージ、江藤、ご提案すること。
01:26:24	すいません。鳥羽さんちょっと言えなかった。
01:26:33	上手なやり方。
01:26:35	古作です。文案は
01:26:38	考えていただければ結構ですので、方向性としては先ほど野本さんの説明で、雰囲気は伝わってますからはい、文章を考えといてください。
01:26:50	社長に来ました。文章はお任せいただきましてこちらに見さしていただく。
01:26:58	イメージが大体これで共有できたよ、たらば、
01:27:04	今ですね、先ほどの案件まだ戻らせていただいても、
01:27:12	規制庁浜崎です
01:27:17	規制庁浜崎です基本的にはこれでということでこれを会合資料の一番最後に追加ということでよろしいですか。
01:27:27	はい。その通りでございます。はい。規制庁山崎です。お願いします。
01:27:31	以上です。
01:27:36	はい、古作ですよろしく申し上げます。決得さんの方はもうフォローできました。
01:27:54	はい。すいません。すいません。ちょっとお客様のニーズというか規制庁さんの、私に説明の要求ができない、ずっと支払って話を、
01:28:05	どういことをされる、定めるといのか、内容を要求されてるか確認しましたので少し私の考えをお話させていただくとヒアリング、今回ご指導をもとに設置させていただきます。これは、
01:28:17	各条文どうすれば進むのかといったところ、何を整理しないと進めないかとそれをちゃんと、各条文担当から聞き取ってそれに必要な期間なんかも、Steering が少しちゃんと計画を作ろうと考えてます。

01:28:31	始めるにあたっては地盤とか、共通中にこれはボックスで優先させていたかどうかというふうに考えております。それから SA の関連もあるんでちょっと SA の関連が大分てまず、
01:28:41	手間取ってるような状況ですので、まずは地盤等共通住民ボックス関連と言ったところになります。なおこれらの内容は Steering が今後把握し把握を現在している最中ですので、大分、
01:28:55	把握ができてる状況だと思っておりますので、金にはですね規制庁さんと中 1 回ちょっとそのような所、何をせなあかんかどのぐらいの機械できるかと。
01:29:05	いたところの話し合いをする場なんかも少し設けていただいでですねそれを 11 ぐらいで大まかなスケジュールとか、進捗状況を少し既存のさんと共通認識と、
01:29:17	する場を設けて、その上で、具体のスケジュールとか具体の資料の順番に入っていくというような段取りで進めたいというのが、私の考えでございます。
01:29:27	このような考えを持っているということのご説明でした。以上です。
01:29:33	古作です。
01:29:38	そうですね。まず、今言われたのは、資料、今日の資料だと、(1) 説明計画を策定をしたと。
01:29:49	いうところの段階で、週 1 進め方のヒアリング資料として提示いただくと。
01:29:59	いうことでいいですかね。
01:30:03	はい。そのような場をぜひ設けていただければですね進めやすいなというふうに考えております。
01:30:09	はい、古作ですわかりました。で、0 と。
01:30:18	ちょっと具体も話をしたいんですけど、今
01:30:23	ちょっと SA の方はまだ見通しが立ってないので、まだ計画が立てられてませんと。
01:30:29	いうことで地盤等、MOX での構造設計と、
01:30:35	いうことでお話いただきましたけど、
01:30:38	会合資料の方だとそういう話を書いてないんですけど、
01:30:43	それは意図的に書いてないんですか。

01:30:47	意図的というところで Steering を書くという、命題かなと思うんで Steering だけ変えたというような状況でございます。
01:30:55	古作ですっていうのも Steering チームとしては、チーム長プラス 4 名ということで数名から成ると書いてますけど、限定してるので身の丈にあったということからすると限定して、
01:31:09	まずは
01:31:11	着実に前進させるための形を作っていきたいと、いうことを前回の資料だと書いてあったと思うんですけど。
01:31:20	そこら辺は公開ではっきりさせないとですねまた混乱するんじゃないかなと。
01:31:25	いうふうに思っていて、というのもそれがあってじゃあ、来月はとかです、再来月はみたいな話になるんで、できればそういうところも会合でちゃんと書いて話をさせていただきたいなと思いますけど、いかがでしょう。
01:31:41	介護資料の 2 ページ目にですねこれはヒアリングチームの口頭だけで書いてます。この Steering チームを使って、まずは地盤から、もしくは共通中というか構造設計の
01:31:53	ところをやっていくと。
01:31:55	いうのを少し追記するような形を考えたいと思います。ちょっと文章はすいません今、すぐ思いつかのですぐ考えてまた
01:32:04	連絡させていただきたいと思います。
01:32:06	はい、古作ですよろしく申し上げます。
01:32:09	それが具体的に戻ります等、その 2 項目って大体見えてきたのでっていうことですが、そのヒアリングはいつぐらいにやれるっていうことですかね。
01:32:24	ちなみにもう一つの資料だと、MOX のやつがその 4 月下旬から、
01:32:31	何らかの方針等を提示っていう、ちょっとよくわからないことが書かれてるんですけど。
01:32:39	はい
01:32:40	地盤の方はですねこれ今後は市の話ですので因子の話をやっていきたいというところは、来週、

01:32:48	ぐらいは、大まかなスケジュールとして、村本が話しできる状態になるうかと考えてます。MOXの共通中に、も工夫から始めるというところ、当然
01:33:00	60 共通 12 となりますので再処理の方も含めた形のひな形というのを作らないといけないので、その辺の関係もございましてちょっと、
01:33:11	次の資料に書いてある通り 4 月の遠藤遠藤前にいただければなというようなスケジュールなその話。
01:33:26	古作ですちょっと通信状況が悪くて、4 月の云々といったところが聞き取れなかったんですけど、
01:33:34	その時期をもう一度お話いただくとともにそのときに、何ができるのかっていうことをもうちょっとちゃんと言っていたいただければと思います。
01:33:57	はい。まず、期限の話は 4 月のゴールデンウィーク前に、資料をお出して、ヒアリングゴールデンウィーク前にお話、
01:34:08	まずは費資料を出しづらくて、内容とか何かこういう進め方をしたいというのをお話できるようにしたいと思っています。
01:34:17	何ができるのかというとその共通中にいろいろ竜巻で、いろいろご指導いただいてやってるんですけどもそれを目途で、少し具体の形にした状態にできるのを、
01:34:30	のタイミングを何かお話できると、内容と骨格とタイミングをお話できるというのが 7 月の末というような状況だと考えております。
01:34:40	古作です。再処理竜巻の、さらに、ネットだったり防護番だったりっていうのに限定して、雛形た
01:34:53	検討していったところを題材を MOX の閉じ込め、閉じ込めに関連する条文含めてですけど、に焼き直して、
01:35:05	完成版に持っていくという作業だというふうに理解をしてますけど。
01:35:12	その作業の状況なり
01:35:17	方向性と、
01:35:19	いうことを、来週にはヒアリングで話をしていただけると。
01:35:23	いうことで、
01:35:25	具体についてはゴールデンウィーク明けに資料が出てくるってことですか。
01:35:30	訴えについては合格に行く前に出したいと思って秋になるかもしれません。その辺に出したいというふうな状況です。はい。

01:35:38	古作です。ちょっとよくわかりませんが結局その作業の方向性っていうようなことを、
01:35:45	話をされて、こちらと認識が合ってるかどうかと、いうことを確認しつつ、スケジュール感の議論ができること。
01:35:55	ということですかね。
01:35:58	はいその通りでございます。
01:36:00	規制庁の谷です。そしてその方向性っていうのは、資料があって方向性の話をするのか、単に口頭でまず相談するぐらいのイメージからいうと今どちらを言われました。
01:36:15	はい、二本木西原でございます。資料があって説明をするということを考えています。
01:36:20	規制庁田尻数って、最初の頃に長さんの方からも伝えたんですけど、こういう資料を作っていて、なのでヒアリングまではこれぐらいの期間を挙げてやりますみたいな話をして、ヒアリング調整していきましょかねっていうのがさっき話にあった気がするんですけど。
01:36:35	それとの関係でいうと今言われたのはいつぐらいに、どれぐらいの分量の資料を出してヒアリングっていう話をされたんですけど。
01:36:46	来週できるのはですね方向性の話とか、具体というよりは状況とかをお話して、
01:36:57	具体の資料が4月、4月のゴールで行く前、
01:37:02	を目指すというような、
01:37:04	私のイメージはそんな感じですけども
01:37:09	規制庁館です。ごめんなさいなんか分かんなくなっただけもう1回資料はなしで、とりあえず方針お話ごめんなさい、古作です。他にも少し話をしてるのとずれて、
01:37:20	認識をしているようなので、石原さんの思いを私の理解としてお話ししますが、資料としては
01:37:31	ある意味その作っているものそのものを、来週のヒアリング時期前に提示をします。
01:37:40	ただ、来週のヒアリングではその内容一つ一つではなくて、こういうような作業の方向性でやっていってます。

01:37:50	方向性合ってますでしょうかということだったりこの部分はブラッシュアップにどれぐらい時間がかかるので、具体のヒアリングとしてはこういうふうに進めたいと。
01:38:00	いうことの話をしたということ認識しましたが、石原さんそういう感じでしょうか何か違いありますか。はい。日本原電一緒でございます。
01:38:14	はい、古作です。
01:38:16	田尻君。
01:38:20	小阪です。そうだとすると、いつぐらい。そうだとは言ってもかな。
01:38:27	資料の提示がいつぐらいでヒアリングはいつぐらいというイメージですか。
01:38:32	はい。
01:38:35	すみません。私が情報を上げきれてないのが最大の問題な気がしますので、しっかりと決得に情報をあげて、スタイルチームとしてスケジュール決めて、ご連絡をするようにします。
01:38:48	今考えたのは、
01:38:51	資料の提示ボーリングに作っているもの。
01:38:56	来週の水曜日にやって郷へ行く前に、考え方なり方向性だけを確認されればゴールデンウィーク前にそれができるかなという思いではいましたけど、
01:39:08	ちょっとそこも含めて、全体、みんなで議論して、それが事実足りる話なのかどうかも含めて、お話スケジュールは決めていきたいと思ってました。
01:39:19	はい。
01:39:20	古作ですちょっと石原さんの言葉も少しぶれたので、確認ですけど、26に資料提示をし、七、八ぐらい、どちらかで調整をしたい、ヒアリング調整したいと。
01:39:32	いう感じでした。
01:39:36	はい、二本木西浦でございますはい。その通りでございます。
01:39:40	はい補足です。わかりました。で、
01:39:44	どれぐらいの分量カーですけど、
01:39:48	今何ページぐらいのものになってるんですか。はい。

01:39:53	おっしゃってイメージされてる通り全部つけたらすごいページなので、全部つける気はありません。あと考え方と、それに基づく結果がこういう形になりますよという
01:40:04	作業の船の仕方ですね。
01:40:08	目的とその目的が達成できてるか、そのやり方として、抜け漏れがないのか、もしくは、変にはじいてるものが出てこないかっていうところの方向性の確認ができればいいと思ってますので全部をつけるつもりはありませんでした。
01:40:22	ページとしては、
01:40:23	はい。
01:40:32	古作です。石原さんはいと言われた後はもう話し終わって、
01:40:37	ですかね。はい、はいすいません今通信が2Wになって、戻ってきたんであれですけどはい考えていたのは考え方と数ページのネタがあれば、
01:40:48	方向性の確認はできるかなと思ってました。
01:40:52	はい、古作ですわ。変わりました。じゃあ、
01:40:57	具体はまた決得さんとも話をして、認識が合った状態で、打診していただければと思いますが、
01:41:07	今
01:41:09	2-1の方の、
01:41:11	MOX 題材でっていうことでお話しましたけど、
01:41:15	耐震の方はどうなるんですか。
01:41:23	はい。対耐震の方もですね今後、介護介護の結果にもよるんですけども会合の後、因子の考察といったところを出したいと思います。ゴールデンウィーク前には、資料を出して、
01:41:38	ヒアリングを、がスタートが5年5月に入ってからかなというそのぐらいのイメージ感を持っております。
01:41:45	以上です。
01:41:47	古作です。
01:41:50	それもう、
01:41:52	どういうふうに進めたいのかっていう先ほどの Steering ペーパーの(1)の計画をヒアリングで伝えていただくタイミングが必要で、
01:42:04	それがあれですか来週末、先ほどの目途、合わせてやるっていうことですか。

01:42:10	Steering メンバーと NRA の
01:42:14	共通認識を持つ場というのが来週セットしていただけたら、そういうところでお話をしていく話だと思ってます。
01:42:27	はい、古作です。わかりましたそしたら整理をしてヒアリング調整の打診をお願いします。
01:42:36	で、
01:42:38	資料のところかというと (3) の話はあまりしませんでしたけど、今野に含まれて、
01:42:43	いるところ (1) を、
01:42:47	の計画立てる上の中では (3) がないと、当然できない話であって、
01:42:54	それを踏まえて、(1) があってっていうので、今のセッティングする、ヒアリングの中で説明をしていただいて、我々が対応できるスケジュールになってるかどうかと。
01:43:07	いうのを確認させていただければと思います。
01:43:13	はい、了解いたしました。
01:43:17	古作です。それで、そこで認識共有をしたスケジュールに乗っからなかった時と、
01:43:26	というのは、当然リスキーをされるということだとは思いますが、
01:43:31	リスクをするだけでは、そもそも Steering はちゃんと握れてなかったじゃないかと。
01:43:36	というようなことがあるので、その点どう握り直せてるのか、それによってスケジュールはこうできますと。
01:43:45	というようなことを、その週1なりでのヒアリングで話をさせていただくのかなと思いますけど、その辺り何か考えてることありますか。
01:43:54	はい。
01:43:55	やはり実際に動かしてもらう、エンジン部門に指示をして、期限を決めてやるんですけども上がってこないこと、あとは、今までだってあったと思います。
01:44:06	今までは、エンキだけだったんですけどもやはりいついつに延期というのが大事だと思いますので、単に延期だけじゃなくていついつリスクのところをちゃんと、

01:44:18	明確にして、次のポイント、ホールドポイントというのを明確にした上でお話できるというのが必要だと考えております。以上です。
01:44:27	古作ですその1つだけじゃなくて、なぜできなかったのかと。
01:44:33	いうところで、Steering チームが把握しきれなかった実態っていうのがあるはずなんですよ。
01:44:38	それをちゃんと説明いただきたいと。
01:44:41	その上で、それを解消するのにこういうことが必要で、こうやるのにこれだけの時間がかかるからっていうのがあるんだと思うんですけどいかがです。
01:44:55	日本原燃平でございます。
01:44:57	誰かも
01:44:58	おっしゃっていただいている通りだと思います。これまでも物でのご連絡するべき多くは、私のところでコメントをして方向性がもともと指示したことと違うと。
01:45:10	もしくは深掘りが足りないとか、いろんな面でコメントをしてその修正にかかる時間をセットをして、ご連絡した時にはこうこうこういうところで、方向性がずれているもしくは軌道修正はしたけども、資料の修正に時間がこのぐらいかかると。
01:45:25	こういうことも含めて、しかし、スケジュールのリセットは当然再ステップだと思ってます。その状況であったり、なぜその次のリスケーのしたところのポイントが、
01:45:36	実行できるのかということも含めて、5例をご説明をするということが必要なことだとは思ってます。
01:45:44	はい、古作です。それでですね、これまでの問題点は石原さん2、すべてが集約されていて、
01:45:53	石原さんが逐次見ていくという作業ができず、結果そのヒアリングでやれるんじゃないか、資料提示直前になって初めてレビューをすると。
01:46:04	そこでその違っているということもう即リスケと。
01:46:09	いうことになってたというふうに認識をしまして、それだとお互い不幸だよねと、お互いというのは、Steering チームエンジンチームともなっているんですけど、
01:46:21	ということがあって、今回のセーリングチームでは進捗管理というようなことで、の適時見て是正を図ってと。

01:46:30	いうこと。
01:46:32	と認識をしておりますけど、決得さんはそういうことでいいですか。
01:46:38	はい。学校はですねちょっと一斉にやり過ぎて見えてなかったところがございますけども、もう今回は、地盤スタートすら地盤と、僕、共通中に、
01:46:49	ただけですのでヒアリングがきっちり理解できると考えておりますので、1本ずつやりたいと思っております。
01:46:55	以上です。
01:46:57	はい、古作ですてそうすると一、この(3)の最後のレ点で、
01:47:02	目的が達成できないだったりした場合は日程再設定ということですけど、
01:47:10	資料提出日になって再設定っていうことはまずありえなくて、
01:47:15	その適時見ていく中で、間に合いそうにないぞと。
01:47:20	思ったところで再設定をされるものだと認識をしておりますけどいいですか。
01:47:27	はい。今の案件ですのでそのようにしたいと思います。
01:47:33	はい、古作です。というので、週1でヒアリングで方法、進め方なりをといたったときに、その時に認識してたのと違う状況がまたすぐ、
01:47:47	な、数日後に起きるといことがないようにしっかりと現場把握をして対応いただきたいと思います。
01:47:57	はい。注1のヒアリングの後、後でも発覚することがございますのでその時は電話等ですぐ連絡して、古作です。そうじゃなくて、
01:48:08	そんなことにならないように
01:48:12	ヒアリング前までに、或いはそのその時の計画を立てる段階で、実態をちゃんと把握をして計画を立ててくださいと。
01:48:21	ということで、もうほぼ、
01:48:24	はい。
01:48:28	成長のため、
01:48:31	責任が所在を明確化する
01:48:33	けど、決得さんは全体管理はそれはそうなんですけど、今回やろうとしている地盤と、共通十字に関して、少なくとも当面は、地盤の方は野本さんが知久時間ある見られてもくすん。

01:48:45	と言うか閉じ込めですか、閉じ込めは石原さんが随時見てって、だからさっき言ったような、数日後に発覚みたいのはないようにしますよってまず思っとけばいいですか。
01:48:59	はい、柳下でございます。はい。そういう形でやらしていただこうと。そのグリップは、当然ながら決得の方でやってもらうということで、
01:49:08	はい。規制庁館です今後割り振りとかがあるのかもシェアリングチーム内でいろいろあるのかもしれないですけど、誰がグリップしてるのかははっきりしといてもらえるとやりやすいので、
01:49:17	お願いします
01:49:22	はい、了解いたしました。
01:49:34	古作です。今移されてる Steering のペーパーは一通りお話できたかなと思いますけど他何かありますか。
01:49:44	いいですか。
01:49:46	ちょっと規制庁の長谷川ですけども、これはある種の提案なんですけど、
01:49:52	ちょっと聞いてなかったところがあってまず Steering チームと週1ぐらいで、確認のヒアリングなのか面談なんかをしますということなんだけれども、
01:50:05	ちゃんと当面動いすしないし Steering チームが、その設立の目的を達成しない限り、
01:50:15	年審査なんて何も進まないわけなんで、今日の議論とかを考えると、全員が来て欲しい。
01:50:25	酷いということではないんですけど、いろいろわかるまでは体面をもう使った方がいいんじゃないかなあと思ってるんですけど。
01:50:37	そのあたりは適1にいろいろ考えてもらえばいいんです。ですけど何しろちょっと今日不安だったのが、
01:50:45	決得さんの認識が、我々の認識と相当ずれがあるんじゃないか。
01:50:52	ていう、ずれなのか、そもそも何かちょっとまだ甘いんじゃないかっていう、そういうのがあって、
01:51:01	もうちょっと大弁理士さんとしっかりっていうところも少しあるのかなと思ってるんですけど、どうです。
01:51:10	はい、お伺いさせていただきます。
01:51:12	そうです。

01:51:16	古作です。
01:51:19	一方現場の人としっかりと話をし、把握をしてやっていただきたいというのあって、対面じゃなきゃということでもありません。
01:51:31	一方で今話あったように、決得さんはちょっと認識をしっかりとさせていただきたいなというところがあって明日面談もありますけど、
01:51:40	考えていただければ、
01:51:45	他の方もですね、内容なり状況に応じて、
01:51:50	使い分けをしていただいたらいいかなと。
01:51:53	いうふうに思いますのでよろしくをお願いします。
01:51:56	はい。当然実務部隊とのコミュニケーションが一番大事ですので、
01:52:02	Steering は、全員が全厚でパツてということではなくてケースに応じて対応させていただきたいと思います。以上です。
01:52:14	はい、古作です。そしたら最後の
01:52:18	図になってる。
01:52:20	ものですけど。
01:52:22	これわあ、なんか。
01:52:24	随分、先ほども少し触れましたけど言葉じりとしては非常にこなれてなくて、
01:52:30	突っ込もうと思ったらいっぱい突っ込めちゃうんですけど、何をしたかったのかを、
01:52:36	原燃からちょっと説明いただいてもいいですか。うん。
01:52:39	はい。弓削西田でございます。文章言葉こなれてないのは大変申しわけございません。これどちらかと規制庁さんにお見せするというまず我々 Steering チームの中で、状況の確保の状況をですねまずこの立ち位置に今、
01:52:57	いるのかっていうのにして欲しくて、書いたものになりますので特段説明したいと思うことありませんで、個人的に、全体を把握するという意味で書き足りなかったなと思ってるの MOX のを骨格作りますという共通中にこれをやろうと思うと、
01:53:14	もうその1本とやらないと、ここにいかないで、そこも含めた全体の流れっていうのを作らないと、全体像としてグリップしているというのは言い切れないというところもありましたので、全体だとステージ

01:53:27	まで、ゲット含めて状況を把握して、どう進めるかというのを議論を今後ちゃんとした上で、規制庁さんにまたお話をさせていただこうと思いますので、以上です。はい。
01:53:39	はい、古作です。
01:53:42	現状の状態を認識共有するという意味でいうと、耐震は確かにその地震動の策定が論点ではありますけど、
01:53:54	一方構造設計の各場で構造設計を話す際には、耐震設計としての構造設計も、
01:54:02	あわせて整理していない等、収束しなくて、各条の説明の時には関連条文で耐震があるんですよね。
01:54:10	それは並行して話をしましょうと言っていたのは、どうするつもりですか。
01:54:18	はい。稲毛西尾でございます。はい。おっしゃっていただいている通り関係するものとして特に例えば共通12で外傷とかというところもこれも相性の領分ではできないだけではなくて、
01:54:29	関連情報としては耐震の地震側の情報も入れてやらないといけないのでこの中で書いたつもりでは言いましたけど、とはいえ頭から順番に分けたら、それぞれ頭にも同じように入っていないといけない。
01:54:41	いうのもありますし改造案件で、耐震が出てくる共通中にもありますんで、そういう意味では抜けてるかなと。
01:54:49	全体ちゃんと
01:54:51	して、情報共有を図りたいと思います。以上です。
01:54:54	はい、補足です。それで言う等、
01:54:56	MOXの方で、
01:55:00	ひな形としては話をし、そのときに、最初リーの考慮と、
01:55:06	いう関係の中で改造ものっていうのが少し、MOXにも幾つか改善もあるのかもしれませんが、
01:55:15	等入ってくると思えばいいですかね。
01:55:19	はい。二本木西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りですMOXでは改造者、多くはないですけどいくつかあります最初にほど複雑ではないですけど、その改造物をどう条文要求と紐づけて、

01:55:32	共通時の中で構造が適合してるかという説明をするかというのは、骨格、整理をしてご説明できるようにしますので、それも踏まえて展開をするということかと思ってました。
01:55:45	はい。補足ですわかりました。で、
01:55:49	あとこの図だとですね右側 hr のものが耐震等共同。
01:55:56	に限定をして書かれてるんですけど、特に溢水と火災は影響評価ってというのがみそであって、それに向けて構造設計の説明として必要なものというので議論を
01:56:10	していたわけで、説明項目に漏れが相当あるので、その点はしっかりと認識をして対応していただきたいと思います。
01:56:23	はい、稲毛西浦でございます。はい、ありがとうございます。おっしゃっていただいているところだと思います骨格がメインとしては溢水評価になりますので、そういったものの抜け漏れがないように、
01:56:32	全体ちゃんとスケール1の把握できるように情報共有を図れる姿にさせていただいて、進めていきたいと思います。
01:56:42	はい、古作ですよろしくお願いします。
01:56:47	ちなみに、
01:56:50	重大事故から溢水に飛ばしてくとかっていうのは、
01:56:55	ここで別に明示しなくてもいいと思うんですけど。
01:57:00	結構な課題な部分だと思ってまして、そこがやはり影響評価にしる強度評価なり何なりにしる、プラスアルファとして考えなきゃいけないところだと思いますので、
01:57:14	まずは重大事故の入口のところを整理してからではありますけど、課題認識としては Steering チームでは持っておいていただきたいなと思います。
01:57:26	はい。与儀西原でございます。はい。
01:57:29	全体整理の中の最もまずいたところがおっしゃっていただいた、
01:57:36	1ポツの整理をする中でしっかりと何が対象なのかっていうのを整理しながら、最後はS評価でジョイントする部分があるんだよと。だからここでこういう整理をするんだよっていう骨格がまず
01:57:47	ちゃんと認識できないといけないと。
01:57:50	そういう部分も漏れなく、展開をして記載をしていきたいと思います。以上です。

01:57:55	はい。補足です。
01:57:57	野本さんなり、石黒さんなり、
01:58:01	に、
01:58:02	お話をしておくそうですね、今村さんはもう多分大丈夫だと思うんですけど、
01:58:06	再処理の再処理 MOX もですけど、実用炉との違いは重大事項の考え方。
01:58:14	です。
01:58:15	さ、実用炉の場合は、重大事故対象の設備も、Sクラスと添2同等とかいうようなところで、同レベルの健全性を持ってほしいというのが設計思想ですけど、
01:58:28	最初に MOX の場合は、設計基準よりも厳しい条件で SA の発生条件を想定をすると。
01:58:37	ということで重大事故の
01:58:41	管地。
01:58:43	事象の抽出をしているということから、その条件において使用できるような信頼性確保といいますと、
01:58:52	健全性を持たせますということなので、マンなので1.2Ssでの耐震設計をとったりと。
01:58:58	ということがあって、それに応じてその溢水対策、火災の対策も講じなきゃいけないと。
01:59:05	というようなことで実用炉ではないプラスアルファの検討が必要だと。
01:59:10	いうところがありつつ、とは言ってもその時でもその条件が違うだけでやることは変わらないと。
01:59:17	ということなのでどういうふうに統合していけば、
01:59:23	全体としての的確に説明ができるかと、いうことを考えていただくということですのでこれからよくヒアリングをしてですね、キャッチアップしていただければというふう
01:59:35	ます。
01:59:38	ちなみに今村さんはそのあたり、どの程度理解されてるものですかね。
01:59:46	日本原燃今村でございます。

01:59:51	そんな問題申し訳ございそんなに深く理解してるわけではなくてですね どういう対策どういう事象に対してどういう対策がありますよというそ ういうすし、
02:00:03	審査書レベル程度。
02:00:06	の理解でございます。
02:00:09	はい、古作ですわかりました。そしたら、よく
02:00:14	許可の時にあったの瀬川さんとかなので、
02:00:18	やってた方何人が担当として入ってますから、よく聞いていただいて、
02:00:27	今村さんだけじゃないと思いますけど、
02:00:31	キャッチアップをして対応いただきたいと思いますし、もしその点で腑 に落ちないこととかがあれば先ほどの進め方のヒアリングの際に、
02:00:42	理解を話をしていただいて、こちらとずれがないかみたいなことは確認 していただければと思いますのでよろしくをお願いします。
02:00:54	はい。二本木西田でございますはい。
02:00:56	すでに SA 関係のところ石黒さん野本さん土肥今村さん含め、話を、今 までの経緯だったり設計としてのコンセプトだったり、
02:01:07	いう話はしています状況を把握していただいてということで今考えてま す今まで確かに SA の話させていただいてたんですけど、一度
02:01:19	こういうことを整理しないといけないんだよねという Steering の目で見 て、やはり入口の考え方みたいのを、1 週 1 回あるヒアリングなりのと ころで、
02:01:29	お話をさしていただいて方向性の確認というの必要なと思ってまし て、私が言うのもなんですけど新しい目を見てやはり気づきみたいなも のがありますので、そういうのをうまく
02:01:41	すみませんが活用させていただきたいと思ってました。以上です。
02:01:45	はい、補足ですよろしくをお願いします。他に何かありますでしょうか。
02:01:54	規制庁の田尻です。一応の確認なんですけど、この表に於いて、SA の 溢水のところで、箱書きで最後整理取り時間を要する整備等の実施状況 を踏まえて、今後示しますよみたいな話があるんですけど。
02:02:07	これは、まずゴールデンウィーク後ぐらいだと思っとけばいいですから 先ほど耐震とか構造の話は来週みたいな話が少しあったんですけど、

02:02:19	はい、日本ギリシャでございます。はい五輪久郷だと思っていただければと思います。そういう意味で先ほど二つの案件と併せて言わなかったというところでございます。はい。
02:02:30	はい規制庁田井ですその方が当然絞りながらやれるもんだということで念のための確認でした。わかりました。
02:02:43	規制庁の竹田ですその他規制庁側から確認はございますでしょうか。
02:02:50	もうよろしいでしょうか。
02:02:52	それでは日本原燃の方から本日のヒアリングの振り返りをお願いします。
02:03:01	渡部でございます。まずは、
02:03:03	地盤モデルの方の石坂郡司様。
02:03:08	2人からさっきいただく。
02:03:10	本日いただきました。
02:03:12	でございます。
02:03:18	だろうが、
02:03:22	木戸迫。
02:03:23	ので、これはあの一覧表のイメージをお開きいただきます。
02:03:26	1 パワーポイントの最後に、瀧川滝で定期バス麻生思い、
02:03:33	もう1点ごめんなさい
02:03:37	はい。
02:03:39	年度が出たと
02:03:41	新しく、
02:03:45	データをきちんとご説明して、これはご説明して参ると、いうことをご審議いただいておりますので、今後対応していただきたいと思っております。
02:03:53	この今本に関しての、をし、コメントをいただいておりますコメントで、我々が今後対応する事項は、表というふうに認識してございます。
02:04:07	もう一つ推定リングチームの方で審査会合資料、ヒアリングチームだけかけておりませんが、このステイリングチームを含めて、今後の進め、進めていく内容というの少し HP
02:04:20	の2枚目に追記したいと考えております。ちょっと文案等考えてまたご連絡させていただきます。以上です。
02:04:30	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。ただいまの説明につきまして規制庁側から確認はございますでしょうか。

02:04:38	古作です。ちょっと振り返りでいつも気になってるんですけど。
02:04:42	資料をこう直しますという振り返りが多いんですけど、
02:04:47	資料を直す云々というよりはタスクとして、
02:04:51	認識をしていただきたいなと思うんですね。
02:04:54	今回で言えば、
02:04:57	来週にどんな話すよう、
02:05:02	するか。
02:05:04	それに向けてどうするか。
02:05:06	ゴールデンウィーク明けどうするかというようなことに触れたはずで、
02:05:11	そこの認識共有をするつもりがないっていうことに、Steering チームとしての問題点を感じたんですけど、いかがですかね。
02:05:24	はい。日本原燃決得でございます。申し訳ございません。まずステアリング含めて今後のスケジュールにつきましては、当然会合資料に直さもちろんのことですが、
02:05:35	来週からですね、Steering が次、把握した実態に合わせた、やるべきこととか、スケジュールをつこう層厚を規制庁さんと共有する会議を来週からスタートさせていただきたいと。
02:05:49	というのが一番ポイントだと考えております。
02:05:53	裾野ヒアリングの中で全体のスケジュールというのですか、今後資金のスケジュールにつきましても共通認識させていただきたいと考えております。
02:06:04	以上です。
02:06:07	はい。補足です。先ほど、MOX 関係で言えば、26 の資料提示 D20、28 調整しましょうと。
02:06:17	ということでそれに耐震もあわせてやりますと、
02:06:21	ということでしたけど、
02:06:23	耐震の方も、どういう方向性かっていうのは、何らかの資料提示があるってことでよかったんですけど。
02:06:39	遠山。
02:06:41	退職等々、
02:06:45	またグループの方でございます。来週口頭でまず、ここで確認させていただくという方向で考えてございます。以上でございます。

02:06:55	古作です口頭だとう実際の資料がどのようなものを想定を して、
02:07:02	どれぐらいの確認時間が、
02:07:05	僕らとして必要でみたいなことは議論できないので、 具体のスケジュールまでお話しすることは不可能だ と思う。
02:07:14	思うんですけど。
02:07:16	まだその程度でいいですっていうことでいい ですか。
02:07:22	量研の決得でございます。ちょっとその辺のお話、 ちょっとこれ丁寧に進めていきたいところ でございますので、明日の面談でそのスケ ジュール感を少しお話しした後に、資料出 せるか、目次を出せるか少し、
02:07:35	明確にしたいと思いますちょっと明日の 面談でご相談させていただきたいと思 います。
02:07:40	はい。大枠の対応方針ということであれば 面談で、
02:07:49	お話いただいた後、それを踏まえて、実 際のヒアリングをどうしていくかとい うのを来週にお話をいただければとい うふうに、
02:07:56	ます。いずれにしても先ほど話したよ うにある程度の資料提示がないと、 具体のスケジュールこちら議論でき ませんので、
02:08:07	そちらの準備状況からそのレベルで 対応をお願いしますというなことで、 行っていただいてスケジュール調整を していければというふうに思いま す。よろしくをお願いします。
02:08:19	はい、了解いたしました。
02:08:26	その学生長から確認はございます でしょうか。
02:08:32	よろしいでしょうか。日本原燃から 何かございますでしょうか。
02:08:38	はい。日本原燃事務局の浜です。 はい。こちらからは特にございま せん。ありがとうございました。
02:08:45	規制庁の竹田です。はい。それでは 本日のヒアリングとしては以上とさ せていただきます。お疲れ様でした。